

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
昭和62(1987)年～平成8(1996)年

日本海水学会誌
第41巻～第50巻 (通巻229号～286号) 総目次
昭和62(1987)年～平成8(1996)年

目 次		
1. 巻頭言	7.3 分析および物性	8. ノート
2. 挨拶	(1) 海水主成分	9. 特集記事・特集論文
3. 総説	(2) 海水微量成分	10. 資料
4. 進歩総説	(3) 物性	11. 会員寄書
5. 講座	(4) その他	12. 解説コーナー・ミニレビュー
6. 総合論文	7.4 海水・塩と環境	13. 年会記事
7. 一般報文	(1) 耐塩性植物	
7.1 海水・かん水の濃縮および脱塩	(2) 塩害と対策	
(1) イオン交換膜法	(3) 沿岸海水環境	
(2) 蒸発法	7.5 食塩の利用・作用	
(3) 逆浸透法	(1) 食品	
(4) その他	(2) その他	
7.2 海水の資源		
(1) 製塩		
(2) 相律		
(3) 微量成分		

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
1. 巻 頭 言					
海洋資源の開発	菅坡 和彦	41	1	1	1987
情報処理とデータベース	大矢 晴彦	41	3	111	1987
思考の三原則	前園 利治	41	4	165	1987
日本海水学会の将来	木村尚史	41	5	233	1988
海水資源とエネルギー	角田 吉雄	41	6	303	1988
“しおめ”をみる	外山 茂樹	42	1	1	1988
「塩」・昔ばなし	三宅 泰雄	42	3	95	1988
イオン交換膜と電気透析	山辺 武郎	42	4	153	1988
食物の“おいしさ”と食塩	川端 晶子	42	5	217	1989
ソルト・サイエンス研究財団について	泉 美之松	42	6	269	1989
海への新たな期待	水崎 茂暢	43	1	1	1989
海水と生物	杉 二郎	43	3	139	1989
海水と炭素化合物	猿橋 勝子	43	4	189	1989
現代製塩技術と晶析	浅野 譲	44	1	1	1990
イオン交換膜法研究の再構築	三宅 哲也	44	2	91	1990
脱塩技術の進歩について	後藤 藤太郎	44	3	157	1990
工学理論と工業装置・操作設計	豊倉 賢	44	5	299	1990
国際塩シンポジウムに寄せて	武本 長昭	44	6	353	1990
海塩利用技術の開発をめぐって	糸井 滋	45	1	1	1991
海水からウランの採取	江川 博明	45	2	59	1991
日本海水学会40周年を迎えて -地球環境資源の海水を想う-	杉 二郎	45	3	123	1991
編集者から	尾方 昇	45	5	251	1991
海水からの資源採取と結晶学	岩本 令吉	45	6	313	1991
ウォーターフロント開発と環境保全の問題点	岡市 友利	46	1	1	1992
海水、生物、金属の腐食現象	梶野 秀夫	46	2	69	1992
「塩の分析と物性測定」の発刊に際して	広井 功	46	3	133	1992
せんごうから晶析へ	前園 利治	46	4	203	1992
第7回国際塩シンポジウムに寄せて	木村 尚史	46	5	291	1992
京都大会へのご協力に感謝する	園部 秀男	46	5	292	1992
海水と長寿社会	大矢 晴彦	46	6	357	1992

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
学会会員数の平衡値 会員増強に関する私見	宮武 修	47	1	1	1993
海水と分析	重松 恒信	47	2	57	1993
人工海水の研究から	三上 洋一	47	3	121	1993
日本海水学会創立までの経緯を想う	清水 和雄	47	5	289	1993
海こそわれらがいのち	上野 景平	47	6	357	1993
これからの製塩技術開発	橋本 壽夫	48	1	1	1994
雑感	堀部 純男	48	2	75	1994
国際会議について思うこと	後藤 藤太郎	48	3	157	1994
日本海水学会への期待	小山 健一	48	5	325	1994
環境問題への取り組みについて	尾方 昇	48	6	409	1994
日本海水学会の成果を海洋環境保全にどのように役立てるか	岡市 友利	49	1	1	1995
汽水研究の発展を願って	日野 明德	49	3	115	1995
今、生命の歴史から考える	有田 正俊	49	5	261	1995
轍鮒の急	堀部 純男	49	6	331	1995
海と山と風土	白田 利勝	50	1	1	1996
海水利用工学研究会 -OJT委員会を振り返って	豊倉 賢	50	2	49	1996
災いを転じて	武本 長昭	50	3	147	1996
水を求めて	加藤 俊作	50	4	210	1996
専門用語雑感	柁野 秀夫	50	5	297	1996
塩専売制度の廃止と国内製塩業の課題	田村 哲朗	50	6	387	1996
2. 挨拶					
第38年会総会において あいさつ	垣花 秀武	41	2	55	1987
第38年会総会において あいさつ	木村 尚史	41	2	55	1987
第39年会総会において あいさつ	木村 尚史	42	2	45	1988
第40年会総会において あいさつ	木村 尚史	43	2	61	1989
第40年会総会において 祝辞	鹿子 木貢	43	2	61	1989
第40年会総会において 祝辞	尾坂 登良	43	2	62	1989
第41年会総会において あいさつ	木村 尚史	44	4	227	1990
第42年会総会において あいさつ	木村 尚史	45	4	183	1991
第42年会総会において 祝辞	桑原 敬一	45	4	183	1991
第42年会総会において 祝辞	梶原 義寛	45	4	184	1991

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
第43年会総会において あいさつ	木村 尚史	46	4	205	1992
第43年会総会において あいさつ	大矢 晴彦	46	4	205	1992
第44年会総会において あいさつ	大矢晴彦	47	4	195	1993
第45年会総会において あいさつ	大矢晴彦	48	4	235	1994
西日本支部長の挨拶と抱負 -海と人間の新しい時代の構築に向かって-	片岡 健	49	2	65	1995
第46年会総会において あいさつ	大矢 晴彦	49	4	189	1995
第46年会総会において あいさつ	堀部 純男	49	4	189	1995
第47年会総会において あいさつ	堀部 純男	50	4	205	1996
3. 総 説					
わが国の水使用の現況と雑用水利用 (Ⅱ)	内田 駿一郎	41	1	3	1987
レドックス・フロー型電池	小沢 丈夫	41	2	60	1987
塩素処理で生成する有機ハロゲン物質および海とのかかわり	杉野 邦雄, 西 末雄	41	3	113	1987
粉粒体の表面化学と付着現象	近沢 正敏, 武井 孝	41	4	168	1987
マクロポーラス型キレート樹脂の合成と応用	江川 博明	41	5	235	1988
超純水	大矢 晴彦	42	3	97	1988
海水中の金属酵素 -その地球化学, 化学進化的意義-	小林 憲正, 原口 紘喜	42	4	155	1988
乳業における電気透析法の応用	平岡 康伸	42	4	169	1988
生物学的海生微生物汚れ防止技術 -ファージの産業への応用の可能性-	荒木 道郎	42	6	271	1989
放射線グラフト重合による濾過膜の機能化	須郷 高信, 斎藤 恭一	43	1	3	1989
わが国における最近の水問題	内田 駿一郎	43	2	65	1989
重水製造法と蒸発法海水淡水化装置における重水の濃縮	進藤 勇治, 白田 利勝	43	4	191	1989
電気化学計測 -デバイス化された化学センサー-	藤嶋 昭	43	4	200	1989
最近の製塩用結晶缶と粒径制御	磯岡 惇	44	1	71	1990
製塩での問題点の対応と逆円錐缶の適用	岩井 隆明, 林 真介	44	1	76	1990
工業晶析装置	中丸 和登	44	1	81	1990
イオン交換膜をSPEとして用いる電気化学プロセス	竹中 啓恭	45	1	3	1991
太陽光発電利用電気透析淡水化システムについて	井上 節夫, 相馬 伸義, 石田 哲義	45	1	11	1991
大気・海洋間での物質の交換機構について	小森 悟	47	2	59	1993
イオン交換膜電気透析法の今後の課題	妹尾 学	47	4	200	1993

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
ドナン透析膜のイオンと溶媒の輸送特性	須藤 雅夫	47	4	208	1993
イオン交換膜電気透析における同符号イオン間選択透過性	佐田 俊勝	47	4	214	1993
圧透析による塩濃縮	山内 昭	47	4	224	1993
バイポーラ膜における整流作用と水の解離	谷岡 明彦, 清水 孝二	47	4	230	1993
放射線グラフト重合法による分離機能膜の開発	須郷 高信	47	4	235	1993
イオン交換膜界面で生じる水分子の電気化学的解離	田中 良修	47	4	242	1993
イオン交換膜電気透析槽の高効率化に関する研究	黒田 修	47	4	248	1993
フッ素系イオン交換膜の開発と食塩電解	若松 久嗣, 片寄 満, 白木 弘之	47	4	259	1993
バイポーラ膜による水分裂 (Water Splitting) 技術の応用	川原 拓夫	47	4	265	1993
イオン交換膜の応用	松永 義則	47	4	268	1993
生態工学と水域の直接浄化	秋葉 道宏, 森 忠洋, 佐藤 利夫	47	5	291	1993
流出油による海洋の汚染機構	森 英利, 外山 茂樹	48	2	77	1994
地球圏-生物圏国際協同研究計画 (IGBP) について その1: 初期構想	大矢 晴彦	49	3	117	1995
海水総合利用システムの提案	大矢 晴彦, 鈴木 喬, 中尾 真一, 加藤 茂, 辻 正道, 杉 二郎	49	4	195	1995
海水かちのウラン採取	広津 孝弘, 高木 憲夫, 加藤 俊作	49	4	202	1995
中国における電気透析技術と応用	張 維潤	49	5	263	1995
海洋エネルギー資源	田中 忠良	50	3	149	1996
海水と生物資源を通しての地球環境マングローブ林の再生と保全をめぐって - マングローブ林の再生と保全をめぐって -	矢吹 萬壽	50	3	157	1996
海生生物付着防止対策の現状と将来	磯 舜也	50	5	299	1996
フローインジェクション分析法: 海水分析への応用	本水 昌二, 大島 光子	50	5	363	1996
4. 進歩総説					
太陽エネルギー利用海水淡水化技術	久保田 昌治, 黒田 修, 高橋 燦吉	41	3	123	1987
蒸発法海水淡水化	外山 茂樹	41	6	305	1988
海水による腐食・防食	西村 六郎	42	2	49	1988
海水中のリチウム資源とその回収	大井 健太, 宮井 良孝, 加藤 俊作, 阿部 光雄	42	5	219	1989
海水および食塩の微量成分分析	和田 芳裕	43	1	13	1989
無機イオン交換体の最新の研究動向	鈴木 喬	43	2	93	1989

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
改質アパタイトとその水環境浄化剤としての可能性	鈴木 喬	44	3	159	1990
逆浸透膜	中尾 真一	44	4	235	1990
イオン交換膜における最近の進歩	赤沢 道博, 黒田 修, 田中 哲郎, 田中 良修, 花田 文夫, 浜野 利勝	45	2	61	1991
海洋エネルギー	上原 春男	45	6	315	1991
生物付着防止対策の動向	川辺 允志	46	2	66	1992
蒸発法海水淡水化	外山 茂樹	46	6	359	1992
海水および食塩の微量成分分析	和田 芳裕	46	6	370	1992
海洋の炭素循環と地球環境変動	蒲生 俊敬	47	3	123	1993
晶析現象と晶析技術の進歩	豊倉 賢	47	5	299	1993
海辺のエコテクノロジー -人工生態系としての干潟-	栗原 康	48	5	327	1994
イオン交換膜技術に関する最近の動向 (その1)	糸井 滋, 大久保 和也, 川口 明廣, 川嶋 武人, 小暮 誠, 須藤 雅夫, 田中 良修, 甘楽 和夫, 寺田 一郎, 松永 義則, 三好 浩文, 吉田 章一郎	49	1	3	1995
イオン交換膜技術に関する最近の動向 (その2)	糸井 滋, 大久保 和也, 川口 明廣, 川嶋 武人, 小暮 誠, 須藤 雅夫, 田中 良修, 甘楽 和夫, 寺田 一郎, 松永 義則, 三好 浩文, 吉田 章一郎	49	5	280	1995
5. 講 座					
食生活における食塩の問題	西村 薫子	41	6	327	1988
赤潮の発生と防除	村上 彰男	42	3	125	1988
食塩と高血圧	藤田 敏郎	42	3	134	1988
東京湾内の水の循環	中田 喜三郎	42	5	246	1989
工業晶析技術と理論	豊倉 賢, 横田 政晶	42	6	298	1989
粉粒体のハンドリングと分級の基本	狩野 武	43	2	115	1989
エクセルギー収支と製塩への応用	江原 亮	43	4	225	1989
晶析装置設計理論	豊倉 賢, 横田 政晶	44	1	5	1990
復水器の保守管理	川辺 允志	44	3	193	1990
海水使用熱交換器材料としてのチタンの特性	佐藤 廣士	44	3	200	1990
吸着型分離機能性高分子	板垣 孝治	45	2	95	1991

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
製塩における結晶の析出と成長	村上 正祥	45	4	202	1991
結晶成長－現象と速度－	松岡 正邦	45	6	345	1991
2次核発生	久保田 徳昭	46	2	103	1992
核化と凝集現象	豊倉 賢	46	4	212	1992
蒸発缶内の流動と生産塩粒径	村上 正祥	46	4	216	1992
最近の防汚塗料の問題点と今後の動向 (その1)	縦山 巖	46	6	405	1992
最近の防汚塗料の問題点と今後の動向 (その2)	縦山 巖	47	1	35	1993
製塩プラントへのチタンの応用	滝 千博	47	1	39	1993
ミネラルと健康	星 猛	47	3	152	1993
好塩菌の生態と生理	大西 博	47	5	320	1993
魚を使った水質環境モニタリングI－臨床検査手法の利用－	角田 出	47	5	331	1993
精製塩の製造工程における塩類の析出	村上 正祥	47	6	375	1993
深層ろ過装置の現状と最近の動向	角田 省吾	48	1	27	1994
繊維坦体を用いたろ過システムの開発	石橋 忠也, 藤井 正博	48	1	38	1994
魚を使った水質環境モニタリングII－行動および電気生理学的手法によるモニタリング－	角田 出	48	1	56	1994
ソーラーポンド－大規模太陽集熱蓄熱システム－	埜田 博史	48	5	387	1994
魚を使った水質環境モニタリングIII－硬組織の分析による魚の生息環境履歴の解明と最近の環境毒性学－	角田 出	48	6	431	1994
イオン交換膜法食塩電解における塩水精製	相川 洋明	48	6	439	1994
典型的腐食形態とその概要 (その1)	梶野 秀夫	49	1	38	1995
典型的腐食形態とその概要 (その2)	梶野 秀夫	49	4	231	1995
製塩工程における脱水機	力武 烈	49	4	238	1995
鋼構造物用防食塗料と塗装 (その1)	石川 時昭	50	3	180	1996
水産食品における塩の役割－テクスチャーと風味の形成	坂口 守彦	50	5	378	1996
鋼構造物用防食塗料と塗装 (その2)	石川 時昭	50	6	461	1996
6. 総合論文					
イオン交換膜の構造	水谷 幸雄	41	4	181	1987
1価イオン選択透過性イオン交換膜	水谷 幸雄	44	2	93	1990
イオンかん水系の溶解平衡とその利用	本山 正夫	44	5	301	1990

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
蒸発法海水淡水化に関する研究	外山 茂樹, 新垣 勉, 村瀬 和典, Hassan Mohamed SALAH	46	1	3	1992
循環濾過式水族飼育装置の設計計画	桑原 連, 佐伯 有常, 中島 真一	46	3	135	1992
魚類の成長と海水適応に關与する成長ホルモンのcDNAクローニングと構造解析, ならびに大腸菌によるホルモンタンパク質の合成	中島 邦夫, 綿引 正則, 田中 実	47	3	135	1993
製塩における粒径制御理論とその応用	豊倉 賢	48	2	85	1994
浜名湖の環境特性と生物生産	黒倉 寿	49	3	122	1995
7. 報 文					

7.1 海水・かん水の濃縮および脱塩

(1) イオン交換膜法

イオン交換膜法製塩電槽の新技術	小淵 康利, 戸井 興一, 花田 文夫, 篠塚 英夫	41	1	47	1987
1価陽イオン選択透過性固定化膜	花田 文夫, 大村 信彦, 鍵山 安弘, 水谷 幸雄	44	2	116	1990
還流付電気透析法による同符号イオンの分離に関する研究 I -理論的検討-	大矢 晴彦, 袴家 淳雄, 平岡 康伸	46	1	27	1992
限界電流密度に与える赤潮の影響	小暮 誠, 佐藤 利夫, 田中 龍夫, 田中 良修, 鈴木 喬	47	1	4	1993
還流付電気透析法による同符号イオンの分離に関する研究 II -チーズホエーの脱塩に関する考察-	平岡 康伸, 袴家 淳雄, 大矢 晴彦	47	1	11	1993
MMA/CMS共重合体を母体とする未架橋の陰イオン交換膜の性質	林 美枝, 荒木 孝二, 高井 信治	47	5	307	1993
4-ビニルピリジン-スチレン共重合体膜を通してのbi-ionic potential	清野 竜太郎, 桑下 明弘, 西沢 匡弘, 山口 雅義, 田坂 雅保	47	6	369	1993
錯化剤を含む希土類金属溶液の電気透析における限界電流密度	高橋 博, 平渡 末二, 三輪 広治, 菊地 賢一	48	2	112	1994
4-ビニルピリジン-スチレン共重合体膜を通しての熱膜電位	清野 竜太郎, 桑下 明弘, 田中 裕二, 田坂 雅保, 関口 治	48	3	159	1994
イオン交換膜の膜伝導度測定法の比較	須藤 雅夫, 山本 潤	49	6	342	1995
イオン交換膜電気透析法の殺菌機構	佐藤 利夫, 秋葉 道宏, 川口 明廣, 鈴木 喬, 大矢 晴彦	50	3	170	1996

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
Preparation and Properties of Anion Exchange Membranes with Various Pyridinium Groups as Anion Exchange Groups	Toshikatsu SATA, Yasuhiko KAKUYAMA, Koji MATSUSAKI, Yasuhiro KAGIYAMA, Fumito KISHIMOTO	50	6	449	1996

(2) 蒸発法

スプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化に関する研究 -ノズル形状の影響について-	上原 春男, Erich STUHLTRÄGER, 宮良 明男,	45	1	16	1991
スプレーフラッシュ蒸発の効率	橋本 俊行, 四元 健彦, 有浦 勢二, 宮武 修	45	1	22	1991
スプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化に関する研究 -ノズル本数の影響について-	宮良 明男, 上原 春男, 日野 雅貴	45	6	339	1991
回転円筒法による硫酸カルシウムスケールの特性評価	森 英利, 中村 正秋, 外山 茂樹	48	1	3	1994
伝熱面への硫酸カルシウムスケールの析出機構と粒子混入による機械的洗浄	森 英利, 中村 正秋, 外山 茂樹	48	2	91	1994
濃度差に基づいて誘起される垂直平行平板間自然対流場の物質移動	宮武 修, 高木 修一, 野田 英彦	48	5	352	1994
コンクリート受熱板による太陽熱海水淡水化装置の開発	久留美 慶晃, 村瀬 和典, 中村 正秋, 外山 茂樹	50	1	13	1996

(3) 逆浸透法

逆浸透酢酸セルロース膜の圧密化による膜含有水の性質および輸送係数の変化に関する研究	小川 善広, 鈴木 彰	41	2	77	1987
逆浸透膜の圧密化に関する基礎的研究	鶴川 直彦, 中谷 郁夫, 岩橋 英夫	43	4	218	1989
硫酸マグネシウムの低圧逆浸透膜透過比率について	大矢 晴彦, 日野 剛, 原 達也, 根岸 洋一, 松本 幹治	44	3	178	1990
絹フィブロインからなる両性弱電解質荷電膜における圧透析	李明忠, 齊藤 敬一郎, 比嘉 充, 谷岡 明彦	50	6	443	1996

(4) その他

濃度差発電用4分割型浸透装置の開発	本多 武夫	42	5	233	1989
イオン交換膜を用いた多室型透析電池の特性	大矢 晴彦, 矢田 和之, 広石 勝徳, 根岸 洋一	44	2	130	1990
インテグレートハイブリッド海洋温度差発電サイクルの性能解析 -OTECプラントと海水淡水化プラントの組合せ-	上原 春男, 中岡 勉	44	3	167	1990

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
タンゲステン酸塩 ($\text{Na}_x\text{K}_{2-x}\text{W}_4\text{O}_{13}$, $\text{H}_x\text{K}_{2-x}\text{W}_4\text{O}_{13}$) のカリウムイオン記憶特性	鈴木 喬, 三宅 通博, 吉川 ユミ, 吉田 敏行	44	3	185	1990
イオン交換膜を用いた多室型透析電池のスケールアップ	大矢 晴彦, 渡辺 誠一, 広石 勝徳, 根岸 洋一	44	6	361	1990
新しい濃度差発電システムの実験的検討	本多 武夫	44	6	365	1990
カリウムイオン, 臭化物イオンイオン記憶無機イオン交換体の開発	鈴木 喬, 杉田 静雄, 初鹿 敏明, 阪根 英人	48	2	100	1994
カリウムイオン記憶合成フッ素雲母イオン交換体の開発	鈴木 喬, 吉田 敏行, 杉田 静雄, 初鹿 敏明, 阪根 英人	48	2	107	1994
カリウムイオン記憶合成フッ素雲母イオン交換体の妨害イオンイオン交換特性	鈴木 喬, 鈴木 隆元, 杉田 静雄, 三宅 通博, 初鹿 敏明, 阪根 英人	48	4	240	1994

7.2 海水の資源

(1) 製塩

高負荷重油専焼ボイラーの燃料転換	江原 亮, 山口 久雄	41	3	142	1987
計測と制御からみた塩の結晶が成長する要因の研究	千種 豪彦	41	6	314	1988
水溶液中の塩化ナトリウム胞芽について	千種 豪彦	43	2	101	1989
イオンかん水の純塩率向上に伴うせんこう運転に関するシミュレーション	吉川 直人, 長谷川 正巳	44	4	248	1990
異なる育晶方式による結晶成長の考察	千種 豪彦	44	5	322	1990
塩化ナトリウム結晶の粒径制御と晶析現象	中村 道彦, 下村 富雄, 国屋 利明	46	4	222	1992
完全混合型晶析装置および逆円錐型育晶缶晶析装置における食塩結晶の2次核化速度について	佐久間 満, 山川 魏, 石川 雅博, 山西 敏裕	46	4	229	1992
オスロ型晶析缶のNaClの晶析現象に対する微小結晶除去の影響	江原 亮, 田辺 忠, 大坪 篤示	46	4	240	1992
逆循環型蒸発結晶缶による粗粒食塩製造についての研究	小倉 功, 蔭山 透, 金谷 秀和	46	4	245	1992
大粒塩製造初期運転における凝集現象	山口 慶弘, 西岡 浩一, 武本 弘	46	4	251	1992
外側加熱式正循環型晶析装置における食塩の晶析特性	西野 泰司, 林 晋一, 秋田 太真樹, 宮内 則和, 長浜 寛	46	4	260	1992
正循環方式および逆循環方式結晶缶の装置特性	池田 一清, 越智 信義, 山田 文彦, 迎 俊則	46	4	268	1992
乾燥塩における難溶性物質の生成	新野 靖, 西村 ひとみ, 有田 正俊	47	2	74	1993
食塩結晶中の不純物	尾方 昇, 鈴木 貴志子	47	3	145	1993

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
塩化ナトリウム結晶成長のその場観察	清水 健司	50	2	51	1996
反応晶析による炭酸マグネシウム粒子の生成	柘植 秀樹, 谷川 貴信, 榊原 正登	50	2	58	1996
回分晶析操作で得られる製品結晶の粒径分布	永島 和寿, 豊倉 賢	50	2	64	1996
炭酸水素ナトリウム存在下での塩化カルシウム-炭酸ナトリウム系における炭酸カルシウムの晶析現象	鵜飼 健司, 後藤 滋, 豊倉 賢	50	2	70	1996
オスロ型晶析缶における食塩結晶の液胞率に関する考察	江原 亮, 小脇 実美, 佐々木 光永, 大坪 篤示	50	2	77	1996
装置内スラリー濃度と製品結晶への影響について	川手 英男, 陰山 透, 金谷 秀和	50	2	83	1996
内部冷却式分級層型晶析装置による超大粒食塩の製造について	神坂 孔彦, 西岡 浩一, 石井 稔, 武本 弘	50	2	89	1996
粒径のサイクリング現象に伴う結晶硬度変化	正岡 康志, 田中 積伸, 国屋 利明, 下村 富雄, 中村 道彦	50	2	98	1996
母液濃縮過程における食塩の晶析特性	秋田 太真樹, 宮内 則和, 岡本 照彦, 竹内 泰人	50	2	105	1996
連続式晶析装置における食塩結晶の粒度分布に及ぼす操作特性について	佐久間 満, 山川 魏, 高島 和行, 久保田 敏, 岩崎 哲夫, 石川 雅博	50	2	113	1996
分級装置一体型蒸発缶の検討	山田 文彦, 喜浦 健, 富田 昭博, 塚本 孝臣	50	2	123	1996
塩化ナトリウム過飽和溶液中の仮想核の成長速度への影響	長谷川 正巳, 豊倉 賢	50	2	131	1996

(2) 相律

海水におけるバリウム, ストロンチウム化合物の溶解平衡	上田 隆, 鵜川 直彦, 春木 隆, 芹沢 暁	41	5	251	1988
苦汁処理工場における炭酸カリの製法	坂本 佳六, 塩田 益稔	46	3	158	1992
複数の塩類-水系の等温溶解平衡式について	江原 亮	49	4	214	1995

(3) 微量成分

海水ウラン回収コストに対する吸着剤性能の影響	中村 奨, 伊藤 義郎, 菅野 昌義	41	1	38	1987
ミクロポア型マンガン酸化物の調製条件の検討	宮井 良孝, 大井 健太, 加藤 俊作	41	3	152	1987
海流利用型海水ウラン吸着採取システムの概念設計	岡崎 守男, 田門 肇, 山本 卓司	41	5	257	1988
海流利用型海水ウラン吸着採取システムの開発	平井 達雄, 坂田 則彦, 山田 通政, 辻谷 潤一, 岡崎 守男, 田門 肇	42	1	7	1988
海水中ウラン回収用繊維状吸着剤の接触特性と繊維径変化の効果	城塚 正, 尾上 薫, 望月 精一	42	1	15	1988
Mg ₂ MnO ₄ から調製した吸着剤による海水からのリチウム採取	宮井 良孝, 大井 健太, 加藤 俊作	42	3	114	1988

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
複合ポリアクリロニトリル繊維から調製した繊維状アミドキシム吸着剤およびそのウラン吸着性	高木 憲夫, 広津 孝弘, 榊原 実雄, 加藤 俊作, 菅坡 和彦	42	6	279	1989
Mg ₂ MnO ₄ を原料としたリチウム吸着剤の調製条件の検討	宮井 良孝, 大井 健太, 加藤 俊作	44	2	111	1990
ペルオキシニ硫酸アンモニウムによるマンガン酸化物系吸着剤からのリチウムの脱着	宮井 良孝, 大井 健太, 加藤 俊作	44	3	189	1990
種々の無機イオン交換体によるリチウム吸着の比較研究	チトラカール ラメシュ, 辻 正道, 阿部 光雄, 林 研二	44	4	267	1990
ホスフィン基およびホスホン基を有する巨大網状構造型樹脂による海水からのウラン採取	江川 博明, 野中 敬正, 中山 守雄	44	5	316	1990
アミドキシム基を有する中空糸状吸着剤の製造とそのウラン吸着性能	江川 博明, カバイ ナラン, 野中 敬正, 首藤 健富	45	2	87	1991
ポリ塩化ビニルを用いて造粒した粒状吸着剤の物性とリチウム吸着性	宮井 良孝, 大井 健太, 榊原 実雄, 加藤 俊作	45	4	193	1991
流動層方式によるアミドキシム樹脂を用いる海水からのウラン採取	高木 憲夫, 広津 孝弘, 菅坡 和彦, 高井 信治, 板垣 孝治	45	5	287	1991
アミドキシム基を有する低橋かけ度多孔性キレート樹脂	江川 博明, カバイ ナラン, 西郷 伸吾, 野中 敬正, 首藤 健富	45	6	324	1991
マンガン酸化物吸着剤の物性とリチウム吸着性	張 紹成, 西村 友伸, 大井 健太	45	6	333	1991
MgMn ₂ O ₄ より調製された吸着剤のリチウム選択吸着特性とそれの示すリチウム同位体効果	大井 隆夫, 瀧口 彰子	47	2	67	1993
マンガン酸化物系粒状吸着剤によるカラム吸着	宮井 良孝, 大井 健太, 加藤 俊作	47	2	81	1993
リチウムイオン導電体LiZr ₂ (PO ₄) ₃ を用いた海水からのリチウム回収	水原 由加子, 八村 克俊, 石原 達巳, 羽野 忠, 瀧田 祐作	47	5	312	1993
連続移動流動層方式による海水ウランの採取	広津 孝弘, 高木 憲夫, 加藤 俊作, 菅坡 和彦, 高井 信治, 妹尾 学, 板垣 孝治	47	6	359	1993
アミドキシム繊維を用いた係留式吸着装置による海水ウランの採取	草壁 克己, 後藤 晃, 諸岡 成治	48	1	22	1994
Li _{1.33} Mn _{1.67} O ₄ から導かれた高性能吸着剤のリチウム吸着性	宮井 良孝, 大井 健太, 西村 友伸, 隈元 純二	48	6	411	1994
粒状吸着剤からのリチウムの脱着	宮井 良孝, 加納 博文, 馮 旗, 大井 健太	48	6	416	1994

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
合成雲母系イオン交換体によるセシウムイオンの選択的除去	鈴木 喬, 坂田 進, 初鹿 敏明, 杉田 静雄, 阪根 英人	48	6	427	1994
脱着液からのリチウムの濃縮・分離条件の検討	宮井 良孝, 加納 博文, 馮 旗, 大井 健太	49	4	220	1995
海水からのリチウム採取ベンチ試験	宮井 良孝, 加納 博文, 馮 旗, 大井 健太	49	4	226	1995
β -ジケトンと中性有機リン酸の混合抽出剤によるリチウムの抽出分離	宮井 良孝, 加納 博文, 馮 旗, 大井 健太	49	5	312	1995
粒状吸着剤におけるリチウムの粒内拡散係数	宮井 良孝, 加納 博文, 馮 旗, 大井 健太	49	6	347	1995
海水ウラン採取に用いる球状アミドキシム型繊維吸着剤の調製およびそのウラン吸着性	高木 憲夫, 広津 孝弘, 榊原 実雄, 加藤 俊作	50	1	3	1996

7.3 分析および物性

(1) 海水主成分

比濁法による海水中の硫酸イオンの簡易定量法の検討	大川原 武, 門田 稔	41	6	322	1988
1-フェニル-3-メチル-4-ベンゾイル-5-ピラゾロンを用いる高純度塩化ナトリウム中のカルシウム, マグネシウムの溶媒抽出-原子吸光分析	童 愛軍, 赤間 美文, 田中 誠之	42	2	59	1988
蛍光X線分析法を用いる海水および河川水中の臭化物イオンの定量	平 幸夫, 前田 嘉道, 安積 敬嗣	42	3	109	1988
メチレンブルー法による高純度塩中の微量硫酸イオンの吸光度定量	新野 靖, 西村 ひとみ, 尾方 昇	42	3	119	1988
炭酸ストロンチウム共沈法を用いる海水中のカルシウムの原子吸光分析	井上 直樹, 杉本 太, 前田 嘉道, 安積 敬嗣	42	5	228	1989
イオンクロマトグラフィーによる食塩中の臭化物および硫酸イオンの定量	新野 靖, 西村 ひとみ, 尾方 昇	43	1	32	1989
反射式赤外線水分計による各種塩水分の連続測定	篠原 富男, 瀬戸山 伸日古, 尾方 昇	43	1	39	1989
蛍光X線法による塩中の臭素の簡易定量	岩附 正明, 新野 靖, 深沢 力	44	2	119	1990
原塩中の不溶解分の定量と状態分析	岩附 正明, 深沢 力	44	5	341	1990
エリオクロームアズロールBを用いる天然水中のマグネシウムのフローインジェクション分析	西岡 洋, 熊谷 哲, 永広 徹, 上杉 勝弥	45	2	78	1991
蛍光X線法による塩中のカルシウム, ストロンチウムおよび硫酸イオンの簡易同時定量	岩附 正明, 新野 靖, 深沢 力	45	5	294	1991

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
蛍光X線法による塩中のマグネシウム、カリウムなどの簡易同時定量	岩附 正明, 深沢 力	46	2	96	1992
陽イオン交換分離・吸光度検出フローインジェクション分析法による食塩中の微量マグネシウムおよびカルシウムの同時定量	山根 兵, 森本 孝宏, 山坂 都, 後藤 詠一	48	3	165	1994
8-キノリノール担持活性炭カラム処理/イオンクロマトグラフィによる食塩中のカルシウムおよびマグネシウムの定量	奥谷 忠雄, 馬場 浩輝, 櫻川 昭雄, 石坂 裕之	49	5	306	1995
二次イオン質量分析法による塩化ナトリウム結晶内不純物の分析	党 弘之, 益子 公男, 有田 正俊	50	3	164	1996

(2) 海水微量成分

黒鉛炉原子吸光分析法を用いる海水および河川水中の微量クロムの分離定量	杉本 太, 前田 嘉道, 安積 敬嗣	42	1	22	1988
2,2'-ジピリジルとテトラフェニルホウ酸イオンを担持させたナフタレンを吸着剤とするカラム分離濃縮法による海水および食塩中の鉄吸光光度定量	永広 徹, 上杉 勝弥	42	4	182	1988
浮選/イオン交換による海水中的のモリブデンおよびバナジウムの分離濃縮	野崎 亨, 山下 浩	42	4	186	1988
水酸化トリウム共沈法による海水中的のpptレベルのセレン(IV)の蛍光定量	玉利 祐三, 北川 雅啓, 辻 治雄, 日下 譲	42	5	241	1989
ピロリジンジチオカルバミン酸アンモニウムを用いる塩化ナトリウム中の微量銅の溶媒抽出-原子吸光分析	童 愛軍, 赤間 美文, 田中 誠之	42	6	284	1989
アミドキシム樹脂吸着とトリオクテルホスフィンオキsid抽出を併用した海水中的のウラン(IV)の定量	小嶋 健博, 重富 康正	42	6	289	1989
2-ヒドロキシフェニルエチルケトンオキシム含浸トリ酢酸セルローズを用いた海水中的の銅(II)の比色定量	小嶋 健博, 曾和 孝之, 重富 康正, 山本 勇麓	42	6	293	1989
高純度塩化ナトリウム中のマンガンのマイクロイオン交換分離-フローインジェクション接触定量	川久保 進, 岩附 正明, 深沢 力	43	1	48	1989
海水中的の微量モリブデンの黒鉛炉原子吸光分析	杉本 太, 木村 彰宏, 前田 嘉道, 安積 敬嗣	43	4	208	1989
蛍光X線分析法を用いる環境水中の全リンの定量	岩谷 浩樹, 前田 嘉道, 安積 敬嗣	43	4	212	1989
Zn-DDTC共沈濃縮法を用いる環境水中の微量カドミウムの黒鉛炉原子吸光分析	杉本 太, 前田 嘉道, 安積 敬嗣	44	2	124	1990
α -ベンゾイオキシム溶媒抽出-ジメチルアミノフェニルフルオロン吸光光度法による海水中的のモリブデンの定量	井上 貞信, 高橋 正, 松原 睦哉	44	4	257	1990

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
3, 5-ジブロモサリチルアルデヒド-2-ベンゾチアゾリルヒドラゾンを用いる食塩中のバナジウムの溶媒抽出-炭素炉原子吸光分析	上杉 勝弥, 森江 勉, 熊谷 哲, 永広 徹	44	4	262	1990
8-ヒドロキシキノリン-5-スルホン酸蛍光法による海塩中のアルミニウムの定量	深沢 力, 川久保 進, 山本 修司	44	5	334	1990
海水中のケイ素について	三宅 泰雄, 猿橋 勝子, 鷺 猛, 金沢 照子	44	6	374	1990
本邦温泉水中のホウ素同位体比に及ぼす海水の影響	大井 隆夫, 武蔵 正明, 野村 雅夫, 小坂 知子, 岡本 眞實, 垣花 秀武	45	1	29	1991
水酸化ジルコニウム共沈法による海水中のpptレベルのセレン(IV)の蛍光定量	玉利 祐三, 辻 治雄, 日下 譲	45	2	83	1991
3, 5-ジクロロサリチルアルデヒド-4-フェニル-3-チオセミカルバゾンを用いる海水および食塩中の銅の溶媒抽出-炭素炉原子吸光分析	上杉 勝弥, 三木 亮太郎, 西岡 洋, 熊谷 哲, 永広 徹	45	4	188	1991
5-ニトロサリチルアルデヒド-4-フェニル-3-チオセミカルバゾンを用いる海水および食塩中のニッケルの溶媒抽出-原子吸光分析	上杉 勝弥, 末広 省吾, 西岡 洋, 熊谷 哲, 永広 徹	46	1	22	1992
塩化ナトリウムを含んだアセトニトリル溶離液を用いるAl-, Ga-およびIn-PMBPキレート的高速液体クロマトグラフィー	童 愛軍, 赤間 美文	46	1	37	1992
海岸近くの海水中のホウ素同位体組成	大井 隆夫, 山崎 智廣, 小坂 知子, 小坂 文予	46	6	385	1992
アゾメチンHを用いる海水および製塩試料中のホウ素のフローインジェクション分析	西岡 洋, 佐井 規雄, 熊谷 哲, 永広 徹, 上杉 勝弥	46	6	391	1992
正の二次イオン測定による食塩中の微量成分の定量	党 弘之, 新野 靖, 有田 正俊	47	1	24	1993
負の二次イオン測定による食塩中の微量成分の定量	党 弘之, 有田 正俊	47	1	30	1993
アルフッソンを用いる海水中のフッ化物イオンのフローインジェクション分析	西岡 洋, 佐井 規雄, 熊谷 哲, 永広 徹, 上杉 勝弥	48	1	10	1994
海水および海産魚の精漿・卵巣液中の元素について	斎藤 勝美, 杉山 秀樹, Carlos A. STRÜSSMANN, 隆島 史夫, 川端 克彦	48	4	248	1994
溶媒抽出濃縮法を併用する炭素炉原子吸光法による海水中のカドミウムの定量	李 鎮植, 崔 遠馨, 上杉 勝彌	49	1	22	1995
天日塩中の希土類元素	大井 隆夫, 荻原 康司, 油井 瑞明, 小坂 知子, 向田 政男, 本多 照幸	49	1	27	1995

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海水リチウムの同位体組成	大井 隆夫, 小沢 孝子, 小坂 知子, 野村 雅夫	49	1	33	1995
新しいキレート試薬を用いる溶媒抽出 - フレーム原子吸光法による海水中の亜鉛の定量	李 鎮植, 上杉 勝弥, 永広 徹, 崔 遠馨, 金 度勳	50	5	344	1996

(3) 物性

食塩の溶解速度定数	清水 典子, 尾方 昇	42	1	3	1988
食塩の流動性測定法の検討	篠原 富男, 永塚 敏, 尾方 昇, 杉田 静雄	42	2	63	1988
塩類水和物の転移温度からみた乾燥減量測定温度条件の検討	新野 靖, 西村 ひとみ, 有田 正俊	46	3	150	1992
塩化ナトリウム2水和物の生成におよぼす添加物の影響	党 弘之, 鍵和田 賢一	50	5	356	1996

(4) その他

高速液体クロマトグラフィーによる漬物用塩中のりんご酸, くえん酸の定量	村谷 茂典, 岸本 茂孝, 赤間 美文	45	5	283	1991
トリ- <i>n</i> -オクチルアミン抽出を併用した高速液体クロマトグラフィーによる漬物中のタートラジン, サンセットイエローおよびソルビン酸の分析	小嶋 健博, 山岡 憲二, 阪田 嗣, 重富 康正	48	6	421	1994

7.4 海水・塩と環境

(1) 耐塩性植物

数種マングローブ胎生種子のイオン組成	加藤 茂, 矢口 行雄, 杉 二郎	41	2	70	1987
マングローブ植物, ヒルギダマシの塩類排出に関する研究	加藤 茂, 矢口 行雄, 杉 二郎	41	4	196	1987
各種マングローブ根中のイオン組成について	加藤 茂, 米盛 重友, 桧垣 宮都, 中村 武久, 杉 二郎	41	4	205	1987
日・タイマングローブ種類別による葉内のイオン組成・分布	加藤 茂, パニチャート サンゴップ, アクソンケオ サニット, 中村 武久, 杉 二郎	42	2	73	1988
塩生植物の塩応答性について - (1) マングローブ植物, メヒルギと塩環境 -	加藤 茂	46	2	89	1992
マングローブ植物, オヒルギと塩環境	加藤 茂	46	6	397	1992
マングローブ植物, ヤエヤマヒルギと塩(NaCl)環境	加藤 茂	48	1	15	1994

(2) 塩害と対策

パンガ地域の地下水成分の季節変化について	加藤 茂, パニチュスコ ソムチャイ, 長野 敏英, 杉 二郎	44	6	355	1990
----------------------	---------------------------------	----	---	-----	------

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
(3) 沿岸海水環境					
環境水中での塩素によるクロム酸化について	杉本 太, 前田 嘉道, 安積 敬嗣	43	1	28	1989
瀬戸内海中東部海域の堆積物中のリンの分布とその存在形態	越智 正, 仁熊 絵美	46	2	81	1992
汽水域のモデル実験による硫酸還元とメタン生成	牛久保 明邦, 竹島 征二, 高井 康雄	47	1	19	1993
汽水域における塩類濃度と生物に対する作用	牛久保 明邦, 竹島 征二, 高井 康雄	48	5	337	1994
河口汽水域における多毛類の分布様式	本多 仁, 千葉 俊宏, 伊藤 絹子, 片山 知史, 千田 良雄, 大森 迪夫, 大方 昭弘	49	3	140	1995
淡水および汽水域に生息するイガイ科カワヒバリガイ属の塩分耐性と浸透圧調節	木村 妙子, 角田 出, 黒倉 寿	49	3	148	1995
環境水の塩分濃度変化がチチブの体表粘液分泌に及ぼす影響	角田 出, 仙石 俊治, 佐々野 博, 村地 四郎	49	3	153	1995
人工河川・佐陀川から宍道湖に遡上する日本海水	高安 克己, 會田 智宏	49	3	161	1995
海水における各種界面活性剤の生分解性	都島 康彦, 継国 孝司, 隆島 史夫	50	1	18	1996
飼育水温がヒラメ稚魚耳石の元素組成に及ぼす影響	角田 出	50	5	349	1996

7.5 食塩の利用・作用

(1) 食品

食べ物の食味およびテクスチャーに及ぼす塩類の影響	島田 淳子, 佐藤 辰江, 浜田 陽子, 畑江 敬子	43	2	107	1989
食塩溶液による野菜の脱水	大坪 藤代, 宮川 金二郎	44	5	328	1990

(2) その他

S-ファージと宿主 <i>Escherichia coli</i> K12に対する食塩の作用	村田 晃, 呉 偉魏, 徳永 淳, 神田 康三, 加藤 富民雄	48	3	171	1994
T-ファージと宿主 <i>Escherichia coli</i> Bに対する食塩の作用	村田 晃, 谷 拓, 佐藤 大輔, 神田 康三, 加藤 富民雄	48	5	346	1994
<i>Lactobacillus casei</i> のファージと <i>Bacillus subtilis</i> のファージに対する食塩の作用	村田 晃, 佐藤 大輔, 谷 拓, 山本 純子, 神田 康三, 加藤 富民雄	49	6	333	1995

8. ノート

天然繊維マットの流出油吸着特性	安部 桂司, 富田 繁, 緒方 純俊	42	4	190	1988
超音波噴霧を利用した結晶塩化ナトリウム超微粒子の調製	後藤 昭博, 伊ヶ崎 文和, 河村 光隆	44	4	272	1990
ポリビニルアルコールによるホウ素の吸着	乗富 秀富, 広津 孝弘, 大井 健太	45	4	199	1991

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
イオンクロマトグラフィーによる天日塩中マグネシウムとカルシウムの定量	赤間 美文, 脇本 真理	46	1	42	1992
酵素試薬による海塩試料中のマグネシウム分析	西村 ひとみ, 有田 正俊, 新野 靖	46	3	171	1992
天日塩結晶中のカリウムおよび臭化物イオン	杉本 康司, 新野 靖, 村嶋 昇, 田山 正幸	47	2	86	1993
フローインジェクション分析法による海水および濃厚食塩水溶液中の極微量アンモニア態窒素の簡易・迅速定量	山根 兵, 齊藤 真佐恵	49	5	318	1995
2-ヒドロキシ-1-ナフトアルデヒド-4-フェニル-3-チオセミカルバゾンを用いる海水および食塩中の鉄, 銅の溶媒抽出原子吸光分析	山口 茂六, 上杉 勝弥	49	6	352	1995
製塩工程におけるヨウ素およびフッ素の挙動	新野 靖, 西村 ひとみ, 中島 美帆, 赤間 美文	50	1	23	1996
懸濁条件下で成長している塩化ナトリウム結晶表面上の微結晶の発達および埋没挙動	横田 政晶, 斎藤 昇, 久保田 徳昭	50	2	123	1996

9. 特集記事・特集論文

9.1 1987年国際膜会議 (特集記事)

1987年国際膜会議報告		41	5	266	1988
--------------	--	----	---	-----	------

9.2 第3回海水淡水化・水再利用国際会議 (特集記事)

第3回海水淡水化・水再利用国際会議報告	日本海水学会編集委員会	41	6	339	1988
---------------------	-------------	----	---	-----	------

9.3 海水バイオ特集号

水産生物とくにプランクトンの生産と水質	平野 禮次郎	43	3	141	1989
汽水中で成育するマングローブ植物の成育条件	倉石 晋, 涌島 智, 櫻井 直樹	43	3	153	1989
海の植物生産研究と人工海水の開発	藤田 善彦	43	3	159	1989
海産藍藻(シアノバクテリア)の利用 - 太陽エネルギーの生物学的変換による水素の生産 -	熊澤 修造	43	3	168	1989
海洋生物を利用した研究開発プロジェクト「高機能化学製品等製造法(海洋生物活用)」について	進藤 秀夫	43	3	179	1989

9.4 晶析シンポジウム特集号

海水利用工学研究会とOJT晶析委員会	田中 良修	44	1	3	1990
--------------------	-------	----	---	---	------

9.5 地球環境における海水の役割シンポジウム特集号

潮位とマングローブ気根の種類と機能	矢吹 萬壽, 北宅 善昭, 杉 二郎	45	3	126	1991
-------------------	--------------------	----	---	-----	------

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海の効用 ー海洋と二酸化炭素ー	堀部 純男	45	3	130	1991
沿岸地帯の生態と植生	宮脇 昭	45	3	139	1991
東南アジアにおける沿岸域低湿地の環境保全と生産	高井 康雄	45	3	160	1991
グローバル時代の海洋エネルギー・システム	太田 時男	45	3	165	1991
地球環境にやさしい社会システム ー地球環境経済学の構想と適用ー	安田 八十五	45	3	139	1991

9.6 石油流出 (特集論文)

ペルシャ湾岸への石油流出および海水淡水化プラントへの影響と対策	後藤 藤太郎	45	5	253	1991
石油による海洋汚染の環境および生物モニタリング	緒方 正名, 藤沢 邦康	45	5	259	1991
石油流出の環境影響と対策	大久保 勝夫	45	5	267	1991
海洋における流出石油の自然浄化と生物への影響	徳田 廣	45	5	276	1991

9.7 晶析シンポジウム特集号

[巻頭言, 講座は該当項に掲載]		46	4		1992
------------------	--	----	---	--	------

9.8 国際塩シンポジウム特集号

第7回国際塩シンポジウムの概要	武本 長昭	46	5	293	1992
第7回国際塩シンポジウム科学プログラムの編成と運営	橋本 壽夫	46	5	299	1992
第7回国際塩シンポジウム 特別講演, 招待講演	片岡 悟, 雅楽川 伸, 村田 章, 星 猛	46	5	303	1992
第7回国際塩シンポジウム 第1部門 (岩塩鉱床の地球科学)	端山 好和	46	5	306	1992
第7回国際塩シンポジウム 第2部門 (溶解採塩)	中西 康堯	46	5	312	1992
第7回国際塩シンポジウム 第3部門 (製塩・資源採取技術)	豊倉 賢, 増沢 力, 松岡 正邦, 原納 淑郎, 柘植 秀樹, 久保田 徳昭, 大矢 晴彦, 阿部 光雄, 水谷 幸雄, 川手 英男, 鈴木 喬, 永田 進一, 三上 洋一	46	5	314	1992
第7回国際塩シンポジウム 第4部門 (食塩の生理作用)	星 猛, 本田 西男, 森本 武利, 藤田 敏郎, 吉富 宏治, 橋本 壽夫, 入江 貴	46	5	326	1992
第7回国際塩シンポジウム 第5部門 (歴史, 市場, 品質, 塩性地, 食品)	尾方 昇, 山中 弘久, 三宅 哲也, 大沼 勇, 久馬 一剛, 田名部 尚子	46	5	333	1992
第7回国際塩シンポジウム大会運営の概要	長谷川 允紀	46	5	339	1992
「特別講演」の機会をいただいて	大野 正之	46	5	345	1992

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
第7回国際塩シンポジウムに参画して	大矢 晴彦	46	5	346	1992
シンポジウムを終わって	山中 弘之	46	5	347	1992
9.9 イオン交換膜特集号					
[総説は該当項に掲載]		47	4		1992
9.10 国際脱塩・水環境保全会議 (特集記事)					
国際脱塩・水環境保全会議報告	日本海水学会編集委員会	48	3	179	1994
9.11 「塩の機能とその科学」小特集					
食用塩の種類とその特徴	尾方 昇	48	3	190	1994
味覚の形成とその発達	鳥居 邦夫	48	3	197	1994
古くて新しい調味料-みそ・しょう油の効用	柳田 藤治	48	3	205	1994
マヨネーズ, ドレッシング類における食塩の役割	押田 一夫	48	3	216	1994
調理における食塩の利用と科学	田村 咲江	48	3	224	1994
9.12 製塩装置の腐食 (特集記事)					
製塩装置の腐食と問題点	藤田 武志	48	4	257	1994
製塩装置用材料としてのステンレス鋼の耐食性について	藤原 最仁	48	4	263	1994
製塩装置材料としてのチタンの耐食特性	杉崎 康昭, 泊里 治夫	48	4	273	1994
腐食試験と腐食診断	今川 博之	48	4	281	1994
9.13 塩生植物 (特集記事)					
日本の海岸植生・塩生植生	鈴木 邦雄	48	5	360	1994
マングローブの生態と利用	馬場 繁幸	48	5	367	1994
9.14 日本海水学会西日本支部設立記念特集号					
西日本支部設立記念行事次第, 設立記念祝賀パーティー次第, 設立趣意書, 経過報告, 役員名簿, 規則, 設置委員会委員名簿	三好 浩文	49	2	66	1995
日本海水学会会長挨拶, 西日本支部長挨拶	大矢晴彦, 片岡 健	49	2	71	1995
西日本支部発足に関する来賓祝辞	岡市 友利, 宮崎 秀甫	49	2	73	1995
日本海水学会西日本支部設立に際して	宮武 修	49	2	75	1995
西日本支部の21世紀への期待	秋山 盛雄	49	2	76	1995
西日本支部活動企画の総括	加藤 俊作	49	2	78	1995
西日本支部の事業について	岸 正弘	49	2	80	1995

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
西日本支部会計予算	西機 忠昭	49	2	81	1995
国立研究所における海洋資源開発研究の現状	加藤 俊作	49	2	82	1995
膜に関する最新の研究	浦上 忠	49	2	85	1995
膜製品に関する企業における最新の研究	関野 政昭, 福田 卓司	49	2	88	1995
日本の製塩技術とその課題	甘楽 和夫	49	2	91	1995
塩業における将来像	野崎 泰彦	49	2	94	1995
海水と生物資源を通じての地球環境 - マングローブ林の保全・再生をめぐる -	矢吹 萬壽	49	2	97	1995
海洋環境に関する大学における最近の研究	越智 正	49	2	101	1995
海洋環境保全と水産資源	岡市 友利	49	2	103	1995
深層水資源への期待	山口 光明	49	2	106	1995

9.15 汽水域特集号

汽水域生態系の特色を活かした富栄養化対策	山室 真澄	49	3	129	1995
汽水域における水生植物の多様性について	國井 秀伸	49	3	136	1995

9.16 晶析シンポジウム特集号

[一般報文, ノートは該当項に掲載]		50	2		1996
--------------------	--	----	---	--	------

9.17 最近の海水淡水化技術特集号

海水淡水化技術の現状と将来	後藤 藤太郎	50	4	211	1996
海水淡水化技術の動向と課題 逆浸透法	木村 尚史	50	4	216	1996
海水淡水化技術の動向と課題 蒸発法による海水淡水化	宮武 修	50	4	220	1996
海水淡水化技術の動向と課題 電気透析法	大矢 晴彦	50	4	225	1996
海水淡水化技術の実際 中空糸型逆浸透モジュール	関野 政昭	50	4	231	1996
海水淡水化技術の実際 スパイラル型逆浸透膜モジュール1	栗原 優, 房岡 良成	50	4	240	1996
海水淡水化技術の実際 逆浸透法・海水淡水化実証プラントでの運転性能結果	岩堀 博	50	4	247	1996
海水淡水化技術の実際 中近東における最近の大型逆浸透法海水淡水化プラント	岩橋 英夫	50	4	250	1996
海水淡水化技術の実際 蒸発法プラント	及川 末吉	50	4	257	1996
海水淡水化技術の実際 火力発電プラントへの適用	田中 彰雄	50	4	262	1996
海水淡水化技術の実際 原子力発電プラントへの適用	宇都宮 正剛	50	4	266	1996

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
沖縄県における大規模海水淡水化施設の概要	金城 義信	50	4	273	1996
9.18 「海水生物付着の防止対策」小特集					
[総説, 資料は該当項に掲載]		50	5		1996
9.19 「海水総合利用システムの開発」小特集					
海水総合利用システムの提案とテクノロジーブレークスルー	大矢 晴彦, 鈴木 喬, 中尾 真一, 加藤 茂, 杉 二郎, 辻 正道	50	6	389	1996
海水利用による作物生産と沙漠緑化	加藤 茂	50	6	396	1996
高回収率逆浸透法海水淡水化の提案	中尾 真一	50	6	406	1996
希薄有用多価イオンの分離・回収のための無機イオン交換体の開発	辻 正道	50	6	413	1996
希薄有用1価イオンの分離・回収のための無機イオン交換体の開発	鈴木 喬, 阪根 英人, 佐藤 利夫	50	6	426	1996
海水のスケール成分除去のための有機イオン交換体の開発	相原 雅彦, 大矢 晴彦, 根岸 洋一, 柳瀬 一生	50	6	434	1996
10. 資 料					
1984年の世界の塩事情	モース デビッドE (橋本 壽夫 訳)	41	2	86	1987
海水ウラン回収システム ヨーロッパ情報調査の概要	尾方 昇	41	3	157	1987
1985年の世界の塩事情	コスティック デニスS (橋本 壽夫 訳)	41	4	211	1987
クウェート国におけるイオン交換膜法製塩および電解プラントの概要	富田 篤志	42	1	28	1988
製塩装置用材料の使用実績について	藤田 武志	42	1	33	1988
人はなぜ塩を欲するのか - 生物体内のNaとK-	村上 正祥	42	3	137	1988
1986年の世界の塩事情	コスティック デニスS (橋本 壽夫 訳)	42	4	194	1988
コーランとサブマスター - 小型RO装置, サブマスターの開発-	上村 啓二	42	5	255	1989
アメリカ・メキシコ塩事情見聞余録 - 第1回塩事業海外研修レポートより-	増山 貞夫	42	6	305	1989
新日本化学育晶缶における操作線図の利用	江原 亮, 岡橋 雅生, 中川 正勝, 大坪 篤示	44	1	14	1990
育晶缶運転特性に関する研究	米倉 乍, 小倉 功, 陰山 透, 金谷 秀和	44	1	18	1990

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
大粒塩製造における運転初期の結晶成長速度および核発生速度の解析	山口 慶弘, 西岡 浩一, 武本 弘	44	1	26	1990
晶析理論による塩化ナトリウムの育成	中村 道彦, 下村 富雄, 国屋 利明	44	1	34	1990
食塩晶析装置における粒径制御	篠原 篁, 西野 泰司, 立本 宏, 林 晋一, 長浜 寛	44	1	42	1990
分級装置付完全混合型外部逆循環方式晶析装置の晶析特性	宮武 昂, 山川 魏, 石川 雅博, 宮西 俊夫	44	1	49	1990
逆循環方式蒸発缶による粗粒食塩の製造	山本 武人, 稲盛 勉, 塚本 孝臣, 山田 文彦, 井戸 一善	44	1	58	1990
晶析装置設計線図の理論に基づく工業装置データの解析	長谷川 正巳	44	1	66	1990
塩試験方法の改定について	広井 功	44	2	135	1990
世界最大の逆浸透法海水淡水化プラントの運転	岩橋 英夫, 永井 正彦	44	2	146	1990
ダンピア塩田訪問記	増澤 力	44	3	209	1990
中国自貢井礦塩設計研究院講演出張について	尾方 昇, 江原 亮, 磯岡 惇, 橋爪 正男	44	3	215	1990
1987年のアメリカと世界の塩事情	コスティック デニスS 他(橋本 壽夫 訳)	44	4	275	1990
塩消費と加工食品の動向	花房 史之	44	6	380	1990
食品添加物関連法規の改正 ー食品添加物表示を主としてー	日高 徹	44	6	390	1990
井礦塩技術掲載記事一覧		45	1	35	1991
中国の煎塩事情 ー第2回中国塩技術派遣団報告ー	村上 正祥, 藤田 武志, 陰山 透	45	1	38	1991
「藻塩焼き」の科学(1)	村上 正祥	45	1	48	1991
「藻塩焼き」の科学(2)	村上 正祥	45	2	111	1991
中国塩湖訪問 ー塩の道を行くー	尾方 昇	45	2	114	1991
道路に使用する凍結防止剤	片脇 清士, 坂本 浩行	45	4	211	1991
ヨーロッパの塩事情	橋本 壽夫	45	4	222	1991
中国におけるイオン交換膜の研究・技術開発動向	山内 昭	45	5	300	1991
米国と日本の製塩工場における運転方法の比較	吉川 直人, 橋本 壽夫	45	6	353	1991
1988年の塩事情	コスティック デニスS(橋本 壽夫 訳)	45	6	360	1991
輸入塩の品質の推移	杉本 康司, 有田 正俊	46	2	108	1992
1989年の塩事情	コスティック デニスS(橋本 壽夫 訳)	46	3	175	1992
1990年の塩事情	コスティック デニスS(橋本 壽夫 訳)	47	2	91	1993
海洋科学技術センターにおける研究開発の動向	堀田 平	47	3	159	1993
世界の塩の品質および分析方法の規格	新野 靖	47	3	173	1993

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
中国安徽省定遠製塩工場訪問記録	播磨 幹夫	47	5	340	1993
生産から廃棄までの塩の流れ	コスティック デニスS (橋本 壽夫 訳)	47	6	379	1993
海洋バイオテクノロジー研究所における研究開発状況	川瀬 太一郎	48	2	119	1994
1992年のカナダの塩事情	バトリック モレラルユイスジェ, ポール アンドリューズ (橋本 壽夫 訳)	48	2	127	1994
製塩工程におけるかん水・母液のpHおよび塩のpH	村上 正祥	48	4	294	1994
韓国の分離膜事情について	金 在振	48	5	397	1994
沖縄における海水淡水化用逆浸透膜について	大矢 晴彦	48	6	451	1994
日中合同シンポジウム報告 (1994/10/9～10/13)	山内 昭, 川原 拓夫	49	1	45	1995
雷について	篠原 篁, 秋田 太真樹	49	6	356	1995
海洋に関する国家プロジェクト研究 - 通産産業省関連の研究 -	杉野 邦雄	50	1	26	1996
ヨーロッパ製塩企業調査概要	二宮 直義	50	1	31	1996
海水電解処理による海生生物付着防止の現状	中村 成興, 村山 智正	50	5	305	1996
オゾンによる海生生物付着防止技術	小沢 建樹	50	5	312	1996
防汚塗料の現状	尾野 眞史	50	5	322	1996
ロボットによる海生生物除去技術	磯部 和孝	50	5	327	1996
海洋環境における銅合金および各種材料の防汚性	今津 司	50	5	334	1996
11. 会員寄書					
菅坡和彦前所長を偲んで	加藤 俊作	42	6	309	1989
大島・北の山浄水場見学余談	雨宮 清行	46	2	120	1992
通産大臣賞受賞にあたって	木村 尚史	47	5	345	1993
塩の棒が曲がる - 食塩結晶の塑性変形について -	村上 正祥, 岡 光蔵	47	5	347	1993
塩と仏教	武藤 義一	47	6	406	1993
大豆との出会い	杉田 静雄	48	1	68	1994
海洋科学研究への道	猿橋 勝子	48	4	305	1994
イオン交換と大鉄鍋	垣花 秀武	49	1	50	1995
情景に触発された汽水域への思い, そして「塩の壁」 - 汽水域特集号に寄せて -	佐藤 利夫	49	3	174	1995
真嶋(高石)久之助先生を悼む	門田 稔	49	3	176	1995
「IEMリサーチ」の発足について	糸井 滋	49	4	246	1995

日本海水学会誌 第41巻～第50巻 総目次
 昭和62(1987)年～平成8(1996)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
研究開発に対する製塩業界の期待	尾方 昇	50	1	37	1996
12. 塩コーナー・ミニレビュー					
おいしさを科学する ー海の幸を生かす人の知恵ー	島田 淳子	48	6	460	1994
水産生物と塩 1. シオミズツボウムシ	隆島 史夫	49	3	171	1995
水産生物と塩 2. 甲殻類の脱皮とミネラル	皆川 恵	49	6	362	1995
水産生物と塩 3. シンジュ	村松 守光	50	1	39	1996
かまぼこと塩	渡辺 悦生	50	3	194	1996
13. 年会記事					
第38回総会研究技術発表会および見学会		41	2	57	1987
第39回総会研究技術発表会および見学会		42	2	46	1988
第40回総会研究技術発表会および見学会		43	2	63	1989
第41回総会研究技術発表会および40周年シンポジウム		44	4	228	1990
第42回総会研究技術発表会および見学会		45	4	185	1991
第43回総会研究技術発表会および見学会		46	4	208	1992
第44回総会研究技術発表会および見学会		47	4	196	1993
第45回総会, 研究技術発表会および見学会		48	4	236	1994
第46回総会, 研究技術発表会および公開講演会		49	4	191	1995
第47回総会および研究技術発表会		50	4	206	1996